

## 5 - 9 東海地方の上下変動

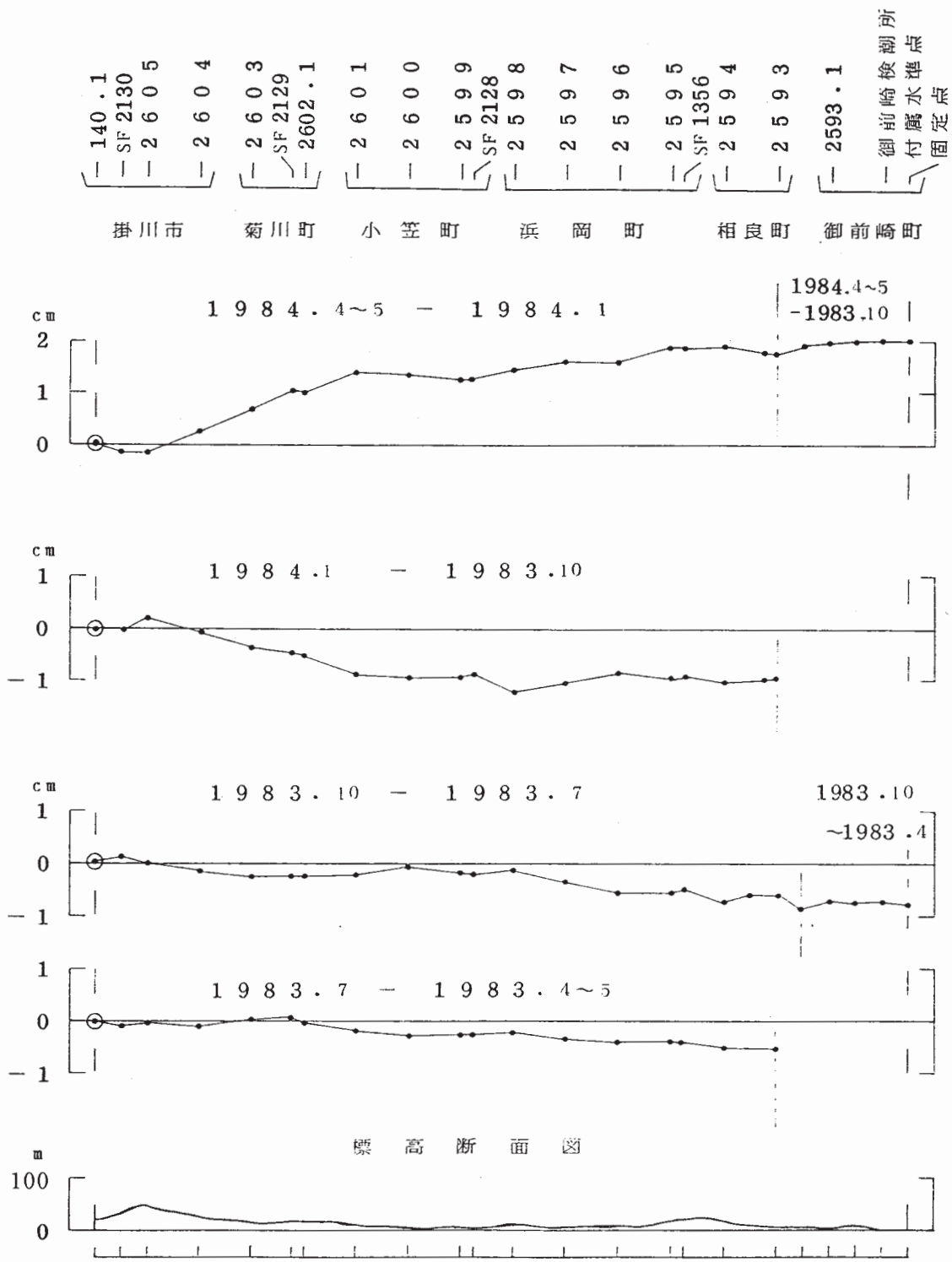
### Vertical Movement in the Tokai Region

国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は掛川～御前崎間の上下変動である。1984年1月は1983年10月に比較して沈下、1984年4～5月は1984年1月に比較して隆起した。第2、第3図に掛川～御前崎間の各水準点の経年変化を示すが、季節的変動は継続している。第4図は静岡県が毎週実施している水準点2129と水準点2601間の水準測量結果である。第5図は御前崎地殻活動観測場の長距離水管傾斜計の傾斜記録と水準測量結果である。東上りの傾斜変動が継続している。第6図は東海地方の各験潮場間の月平均潮位差である。御前崎は沈下が継続している。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：東海地方の上下変動，連絡会報，**29**（1983），202 - 215.
- 2) 国土地理院：東海地方の上下変動，連絡会報，**30**（1983），208 - 217.
- 3) 国土地理院：東海地方の上下変動，連絡会報，**31**（1984），303 - 315.



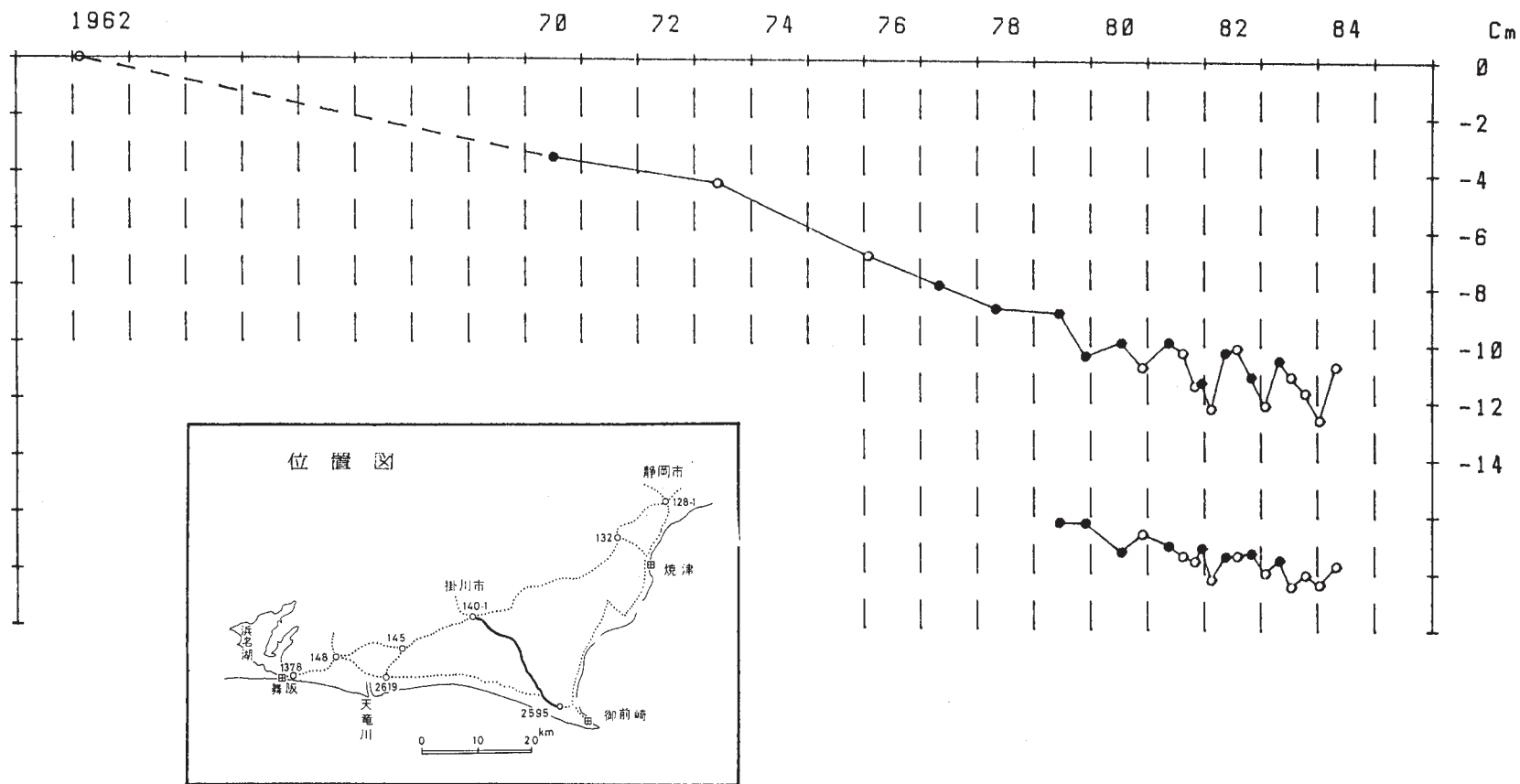
第1図 掛川～御前崎間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Kakegawa to Omaezaki.

基準 1 4 0 . 1

基準年 1 9 6 2

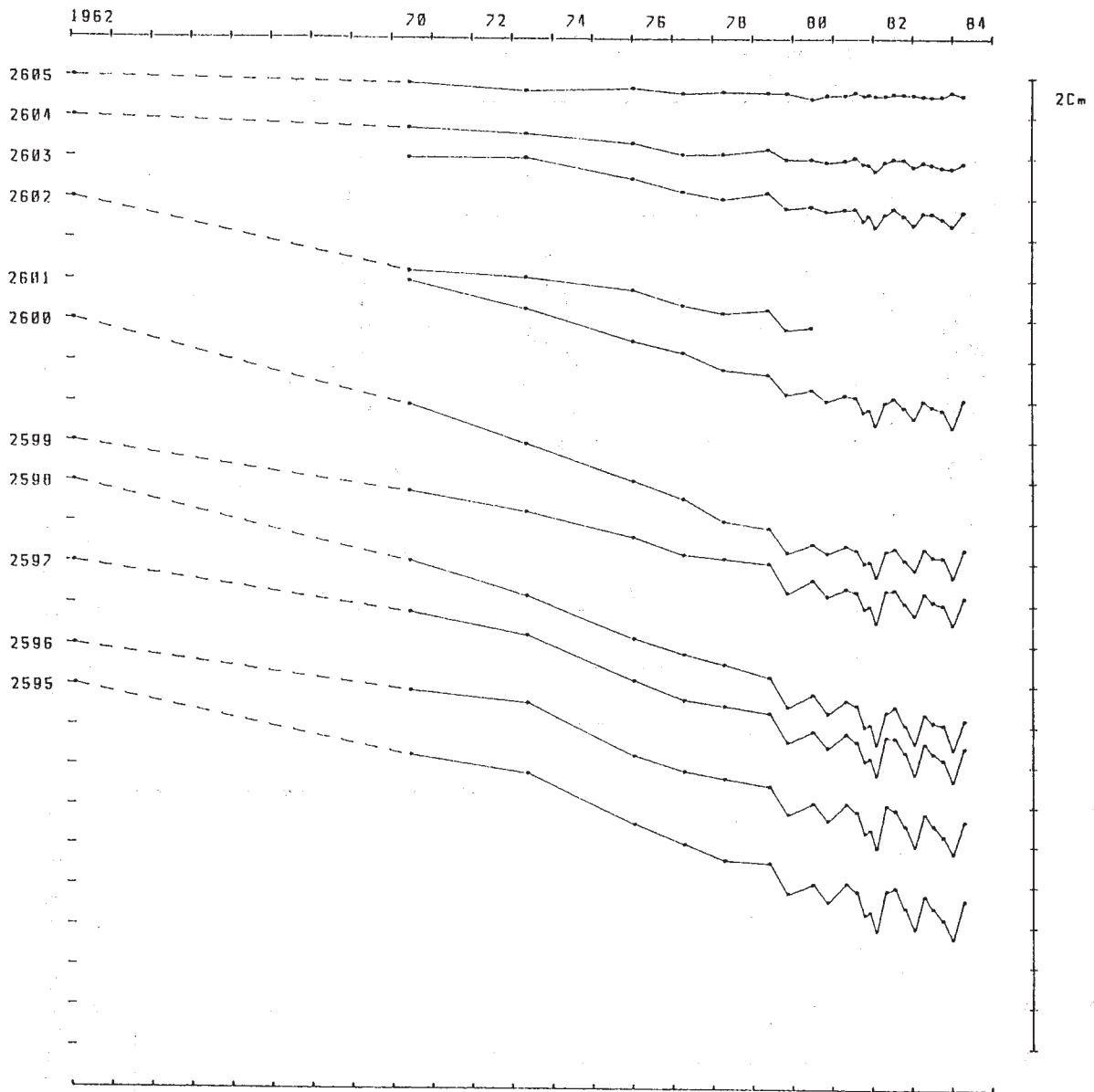
●: 網平均計算値による。  
○: 突き出し観測値による。



第2図 水準点2595（浜岡町）の経年変化

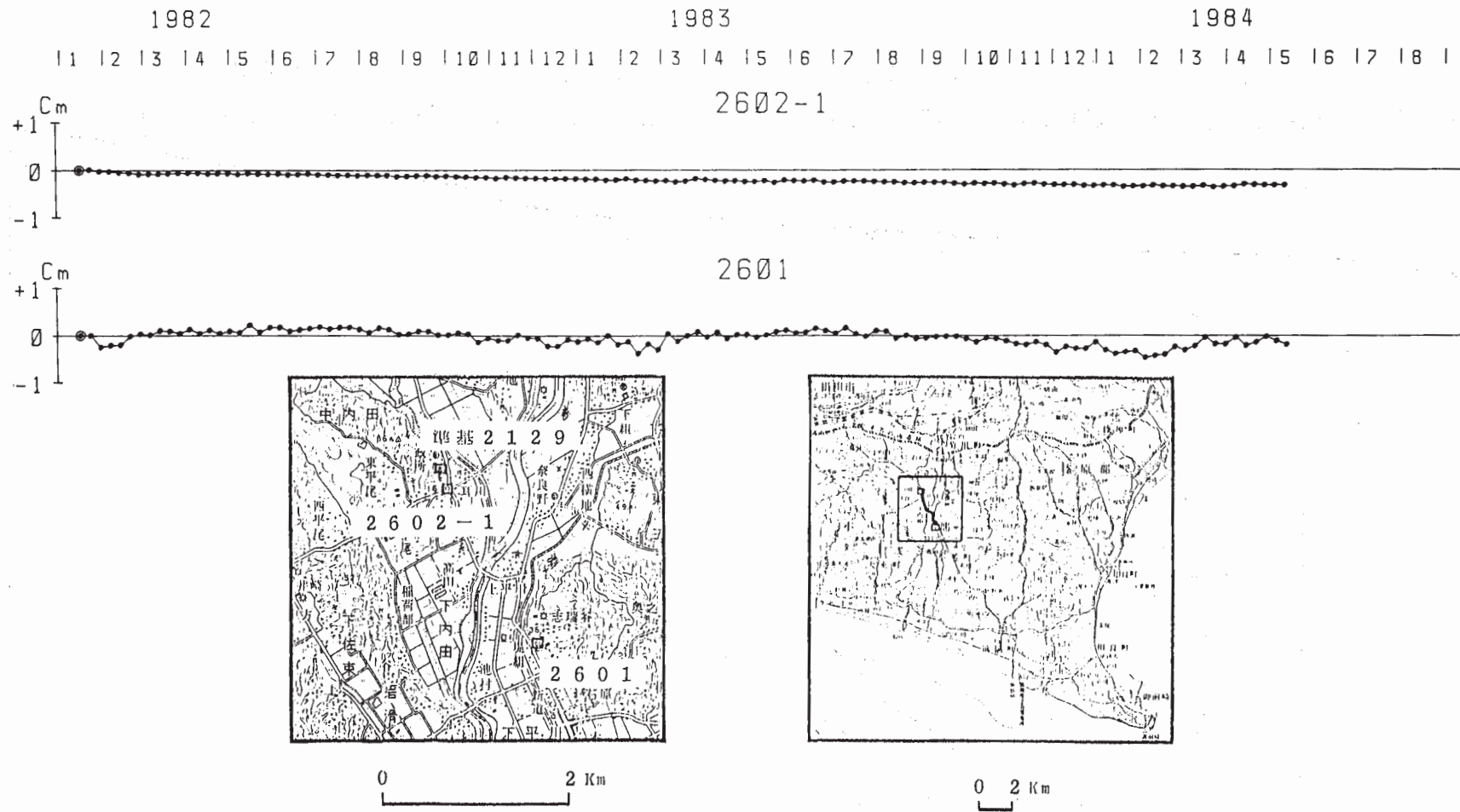
Fig. 2 Height changes of B.M. 2595 in Hamaoka Town relative to B.M. 140-1.

基準 : 140.1 (掛川)



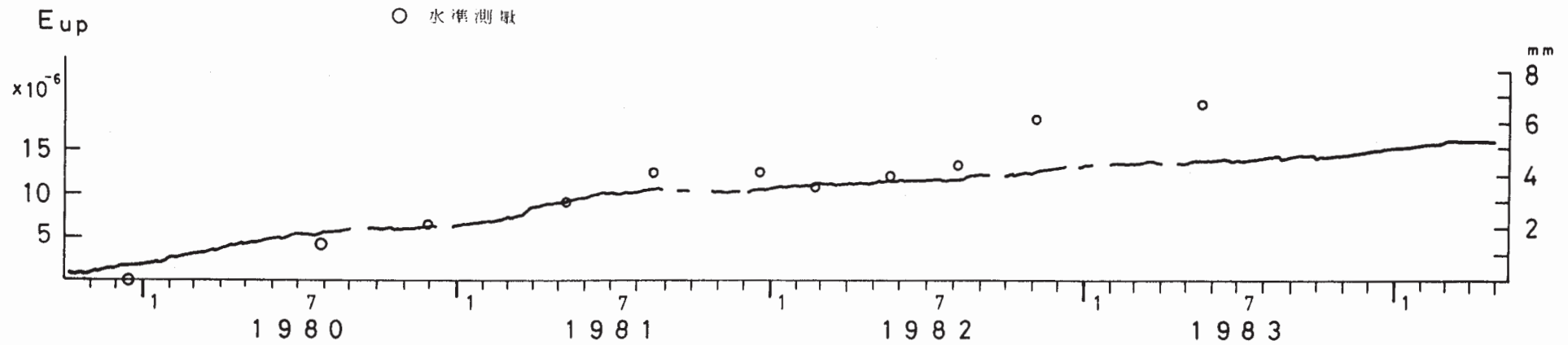
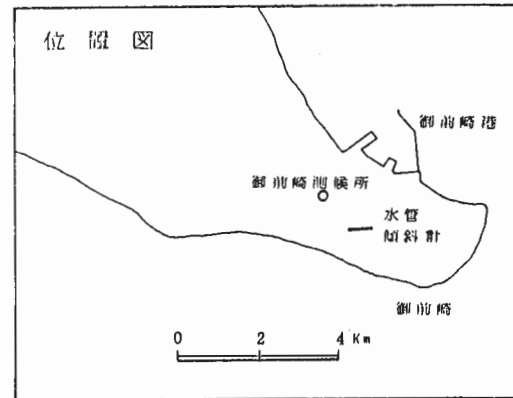
第3図 掛川～御前崎間の各水準点の経年変化

Fig. 3 Height changes of each bench mark along the route from Kakegawa to Omaezaki relative to B.M. 140-1.



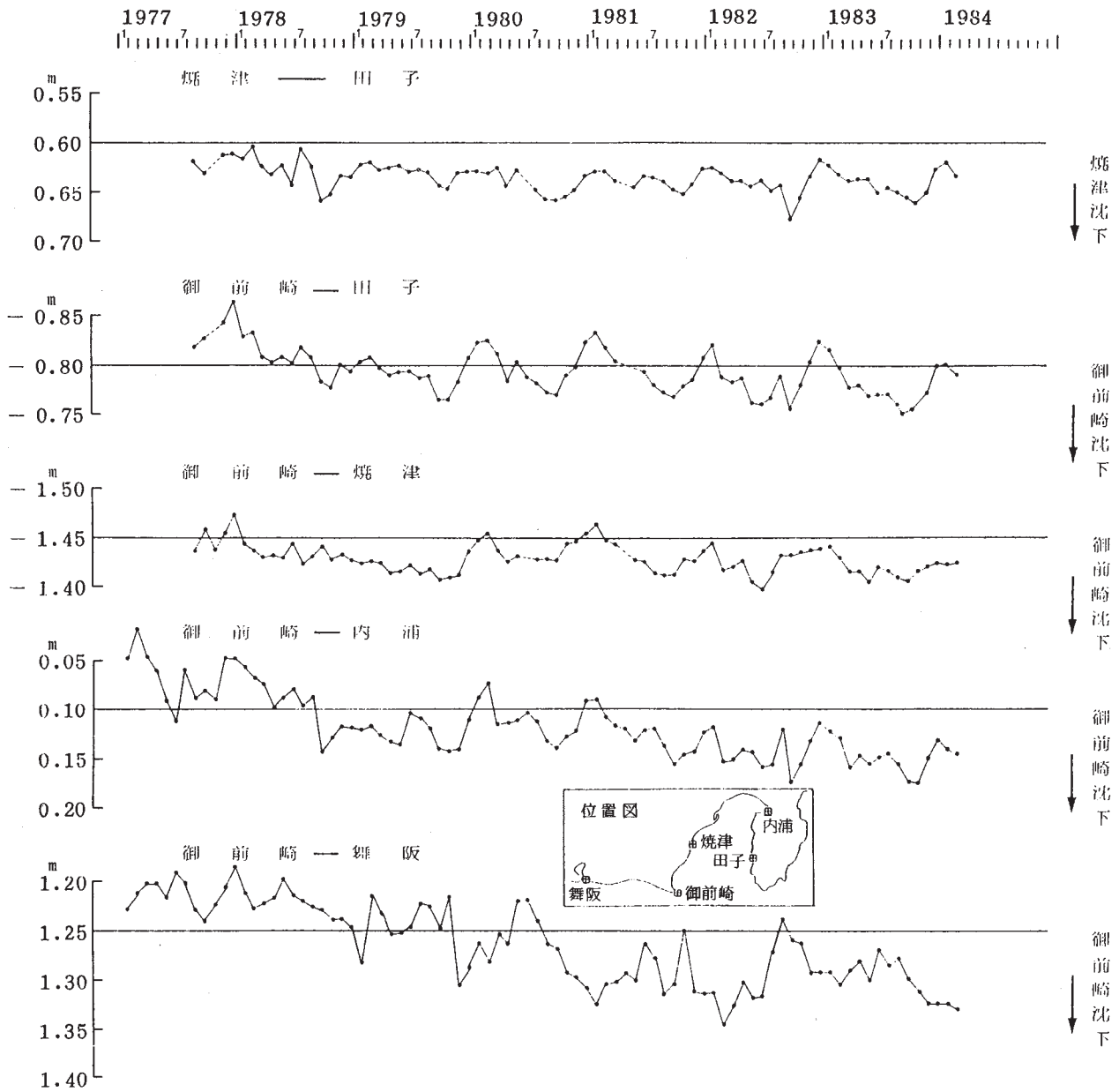
第4図 水準点 2602 - 1 ( 菊川町 ) と 2601 ( 小笠町 ) の経年変化  
 Fig. 4 Height changes of B.M. 2602 - 1 and B.M. 2601 relative to B.M. SF2129.

御前崎 (E - W)



第5図 御前崎地殻活動観測場（長距離水管傾斜計）の傾斜記録

Fig. 5 Tilt record of the Long Water Tube Tiltmeter of the Omazaki Crustal Activity Observatory.



第6図 東海地方の各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 6 Differences in monthly mean sea level from tidal station pairs in the Tokai region.